

平成 26 年 度

横浜国立大学経済学部
第 3 年次編入学試験募集要項

横浜国立大学経済学部

平成26年度横浜国立大学経済学部第3年次編入学試験募集要項

経済学部のアドミッション・ポリシー

経済学部では、実践的「知」を身に付けたい意欲的な学生を求めています。

経済学部は、数理的・論理的分析と国際コミュニケーション能力を重視していることから、入学者は、高等学校における基本科目の幅広い学習に加え、数学や英語の基礎的学力を備えている必要があります。その上で、次のような意欲のある人を求めています。

- 情報を自らの思考で編集し、自ら発信したい！
必要な情報にアクセスするだけではなく、自己の思考によってそれを編集し、更には自ら情報を発信していく力をつけようとする人
- 実践力を身につけたい！
知的好奇心にあふれるとともに、新しい見方やアイデアを具体化していくプラグマティックな能力を身につけようとする人

本学の詳細な教育目標・方針については、本学WEBサイトに掲載の『「学士力」を磨く YNU initiative』(<http://www.ynu.ac.jp/education/plan/initiative.html>)をご覧ください。

I 第3年次編入学試験の趣旨

横浜国立大学経済学部は、すでに学士を取得した者、短期大学あるいは高等専門学校を卒業した者で、本学部の専門教育等を履修することを希望し、かつその能力を持つと認められる者に対して、平成5年度から編入学の道を開いてきましたが、平成11年度から4年制大学に一定期間以上在学している者にも編入学の機会を拡げることとしました。

社会の急激な変動の中で知的関心の変化や多様化が生じ、リカレント教育や生涯教育への需要が高まってきています。とくに近年では、国際経済社会の再編、日本経済の地位の変化、地球環境問題の激化など、新たな諸問題が生起しています。このような状況の中で、すでに一定の教育を受け、あるいは、社会的な活動を経てきた者に、改めて経済学、国際経済学、法学等を学ぶための機会を提供することが、編入学の制度を設けた趣旨です。

編入学試験の各年度別合格者数は下記のとおりです。

年 度	平成19	平成20	平成21	平成22	平成23	平成24	平成25
合格者数	19	18	21	23	19	20	16

II 募集人員

学 科 ・ コース名	募 集 人 員
経済システム学科 ・ 経済コース	4 名
経済システム学科 ・ 法と経済コース	3 名
国際経済学科	8 名
(うち5名程度は、社会人選抜の募集人員とする。)	

Ⅲ 出願資格及び要件

次のいずれかの基礎資格を有する者。なお、一般選抜で出願する場合は、語学に関する要件も併せて満たす者。

一般選抜	基礎資格	(1) 日本または外国において、学士の学位を有する者および平成26年3月までに学士の学位を授与される見込みの者 (2) 日本の短期大学、高等専門学校を卒業した者および平成26年3月までに卒業見込みの者 (3) 学校教育法で規定する修業年限4年以上の大学において、平成26年3月までに2年以上（休学期間を除く）在学し、62単位以上を修得した者および修得見込みの者 (4) 学校教育法施行規則附則第7条の規定に該当する者
	語学要件	下記のいずれかの語学試験を受験し、出願時に下記基準以上の成績を取得、または合格していること。 ・TOEFL 52点 (iBT) ・TOEIC 500点 ・ドイツ語技能検定 2級 ・実用フランス語技能検定 準2級 ・中国語検定試験 3級
社会人選抜	基礎資格	(1) 学士を取得した後、出願までに1年以上経過している者 (2) 日本の短期大学または高等専門学校を卒業した後、出願の時までに3年以上経過している者 (3) 一般選抜の(4)に該当する者

Ⅳ 出願書類等

- ・ 証明書が日本語もしくは英語以外で書かれている場合は、その証明書の日本語訳もしくは英語訳を添付して提出してください。さらに、翻訳された内容が原本と相違ないことを出身校もしくは大使館等の公的機関で証明を受けて添付してください。必ず、原本・訳文・翻訳証明の3点を提出してください。
- ・ 東日本大震災による被災の影響により、証明書の発行に支障がある場合は、出願期間前に経済学務係までご相談ください。

<A> 一般選抜の出願者は、以下のものを提出してください。

1 入学願書（本学部所定のもの）

所定の事項を記入し、写真（上半身、脱帽、出願前3カ月以内に撮影したもの）を指定欄に貼付してください。

2 成績証明書

出身大学（学部）長または学校長が作成し、厳封されたもの。

なお、出願資格(3)の該当者のうち、62単位以上修得見込みの者は、現在履修中の科目および単位数の証明書を既修得科目の成績証明書と併せて提出してください。

（注）出願時に62単位以上修得見込みの証明書を提出できない場合は、事前に経済学務係に連絡し指示を受けてください。連絡がない場合は、出願書類を受理できないことがありますので注意してください。

3 卒業（見込）証明書等

- ① 出願資格(1)、(2)および(4)の該当者については、卒業証明書又は卒業見込証明書
- ② 出願資格(3)の該当者については、在学証明書又は2年次修了(見込)証明書

4 語学試験の成績証明書または合格証明書

・ TOEFL

出願期間最終日において2年以内に受験したスコアで、Educational Testing Service (ETS) から本学に直送されるもののみを、正式な成績証明書とします。横浜国立大学のコード番号は「0410」です。

TOEFL-ITP (団体向けテスト) のスコアは、受け付けられません。

・ TOEIC

出願期間最終日において2年以内に受験したスコア (Official Score Certificate・原本) を、成績証明書として提出してください。

TOEIC SW テスト(スピーキングテスト/ライティングテスト)、Bridge テスト及び IP テスト(団体特別受験制度)によるスコアレポート(個人成績表)は、受け付けられません。

・ ドイツ語技能検定、実用フランス語技能検定、中国語検定試験

過去に受験した際の合格証明書を提出してください。

(注)「4 語学試験の成績証明書または合格証明書」は、TOEFL の成績証明書以外は、必ず原本を提出してください。コピーでは出願を受け付けませんので注意してください。返却を希望する場合は、各自で返信用封筒 (90 円切手を貼付し、住所・氏名を記載したもの) を用意し、原本と共に一旦提出してください。経済学務係でコピーを取り、後日返却します。

5 郵便振替払込受付証明書 (入学検定料)

払込金額：30,000 円

払込期間：出願期間に間に合うように払い込んでください。

払込場所：郵便局・ゆうちょ銀行の受付窓口

(注1) 入学検定料の払い込みは必ず、本冊子綴じ込みの「払込書」を使用してください。

(注2) 土曜日、日曜日、祝日は払い込みができませんので注意してください。

(注3) 「払込書」の※欄及び「振替払込受付証明書 (お客さま用)」のご依頼人住所氏名欄には、志願者本人の住所・氏名等を記入してください。

(注4) 「振替払込請求書兼受領証」及び「振替払込受付証明書 (お客さま用)」を受付窓口から受け取る際には、必ず受付局日付印を確認してください。

(注5) 入学検定料が払い込まれていない場合、または払い込み済みの「振替払込受付証明書 (お客さま用)」が所定の用紙に貼付されていない場合は、出願を受理できません。

(注6) 入学検定料を払い込んだが「出願を取りやめた場合」や「出願が受理されなかった場合」及び「検定料を二重に払い込んだ場合」は本人の申し出により返還します。返還請求の方法については、学務第一係までお問い合わせください。

(注7) 本学では災害等で被災した受験生の進学機会を確保する観点から、本学入学者選抜試験において、出願に際し入学検定料免除の特別措置を行います。特別措置を希望する方は <http://www.ynu.ac.jp/exam/index.html> (災害救助法等の適用地域の被災者に対する入学検定料免除特別措置について) をご確認の上で社会科学系経済学務係までお問い合わせください。

※ (注6)以外の場合はいかなる理由があっても納付済みの検定料は返還しません。

6 返信用封筒 (受験票送付用)

所定の定型封筒に切手 (350 円 [速達]) を貼付し、郵便番号・住所および氏名を明記してください。

7 住所・氏名記入用紙 (本学所定のもの・シール用紙)

郵便番号・住所および氏名を明記してください。

8 その他の書類

現に日本国に在住する外国人は、「住民票記載事項証明書」を提出してください。

＜B＞ 社会人選抜の志願者は、＜A＞記載のもの（「4」を除く）に加えて以下の要領により論文を提出してください。

1. 本年度の論文のテーマ

アとイの両方について論文を提出してください。

ア. 日本の今後の国際経済関係をめぐる争点の一つとして、T P P参加問題があります。T P Pの概要について要約した上で、代表的な推進論と反対論を取り上げて、それらの根拠となるデータに留意しつつ論点を整理し、あなた自身の見解を述べてください。その際、引用文献や参考資料などを注記するなど、論文の書き方に配慮してください。

イ. あなたは本学で主にどのようなことを学びたいですか。社会人としての経験や知見を踏まえ、編入学志望の動機や理由を述べてください。

2. 論文の形式

- ・ 論文はA4の横書きで、1枚40字×25行で印刷してください。アは5枚程度、イは3枚程度です。
- ・ アとイは別の用紙に印刷し、それぞれに、論文テーマ（「論文ア」または「論文イ」）と氏名を記載した表紙をつけてください。

V 入学の時期および修学条件

- 1 入学の時期は、平成26年4月とします。
- 2 学士の学位を得るには、本学部に2年以上在学し所定の単位を修得しなければなりません。
- 3 入学後、出身大学（学部）、出身学校の修得単位の全部または一部を本学部の卒業要件の単位として認定します。ただし、特に専門科目については、シラバスを検討し、横浜国立大学開設の同等の専門科目と内容的に一致すると判断される場合のみ認定します。認定される単位数によっては2年間で卒業できない場合があります。
- 4 所属学科・コースは、合格者の志望および試験成績に基づいて決定します。第1志望ではなく、第2志望・第3志望の学科・コースに所属する場合がありますのでご注意ください。

VI 出願手続

1 出願受付期間

平成25年9月6日（金）～ 9月12日（木）までとします。

2 出願方法

出願方法は郵送（書留速達）に限り、窓口では一切受け付けません。なお、願書受付期間後に到着したものは受理しません。

ただし、9月11日（水）までに発信局消印のある書留速達に限り、期間後に到着した場合でも受理します。

VII 願書記入上の注意

- 1 提出書類は、楷書で鮮明に記入してください。
- 2 出願書類に記載事項の記入もれ、その他不備のある場合は受理しません。
- 3 出願手続後は、いかなる事情があっても書類に記載した一切の事項の書換え、変更は認めません。
- 4 志望学科・コース欄は、第1志望から第3志望まで必ず記入してください。

VIII 選抜方法

- 1 一般選抜は、学力検査および書類審査により行います。社会人選抜は、論文・口述試験、および書類審査により行います。

選抜の種類	試験期日	試験時間	試験科目
一般選抜	平成25年 11月18日 (月)	9:00 ～ 10:30	<p>専門科目【経済学Ⅰ、経済学Ⅱ、法学のうちから1科目を選択してください】</p> <p>経済学Ⅰ 経済原論、経済史および経済政策の分野と関連する基礎的学力を問います。</p> <p>経済学Ⅱ マクロ経済、ミクロ経済および経済数学の分野と関連する基礎的学力を問います。</p> <p>法学 公法および私法の分野と関連する基礎的学力を問います。</p>
社会人選抜	平成25年 11月18日 (月)	9:30 ～	<p>口述試験【一人ずつの受験生に複数の教員が、提出された論文に関して行います】</p> <p>論文は、テーマについての基本的な理解、見解の独創性・論理性、論文の構成力・表現力をもって評価します。</p> <p>口述試験では、論文に関する理解度、専門科目に必要な基本的知識、社会人としての経験の活かされ方等をもって評価します。</p>
			提出された論文と口述試験を総合して評価します。

- 2 学力検査等試験場所
横浜国立大学経済学部

IX 合格発表

	日時	場所等
合格者 発表	平成25年 12月6日(金) 13:00頃	<p>左記日時に、本学ホームページに合格者受験番号を掲載します。また、合格者のみへ合格通知書を郵便で発送します。 (URL:http://www.ynu.ac.jp/exam/faculty/pass/index.html) なお、電話による照会には応じません。</p>

(注) 掲載期間は、合格発表日から概ね4日間程度です。

X 入学手続

合格通知を受けた者は、入学手続きを所定の期間内に完了しなければなりません。期間内に完了しない者は、入学辞退者として取り扱います。

出願資格（3）の該当者のうち、平成26年3月までに所定の要件を満たす見込みで受験し、合格した者が、所定の要件を満たすことができなかった場合は、入学を許可しません。（合格者は、手続の期間内に成績証明書を提出してください。）

1 入学手続きおよび方法

平成26年2月28日（金）から3月6日（木）までの期間に、郵送【必着】、または本学部に来学のうえ（3月6日のみ）手続きをしてください。

2 入学時に必要な経費

入学料 282,000 円〔現行〕

（参考）授業料 半期分 267,900 円／年額 535,800 円〔現行〕

（注1）入学料および授業料は、改定される場合があります。

（注2）在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新しい授業料が適用されます。

（注3）詳細は入学手続き書類と一緒に送付します。

X I 障害等のある入学志願者の事前相談について

下表に該当する者は、受験および修学上特別な配慮を必要とすることが起こり得ますので、出願する前に必ず社会科学系経済学務係までご相談ください。また、出願受付締切後の不慮の事故による負傷者についても、受験及び修学上で特別な配慮が必要となった場合は、その時点で速やかに申し出てください。

なお、下表から判断できない場合については、お尋ねください。

区 分	障 害 の 程 度
視覚障害	両眼の視力がおおむね0.3未満のものまたは視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能または著しく困難な程度のも
聴覚障害	両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のものうち、補聴器等の使用によっても通常の話し声を解することが不可能または著しく困難な程度のも
肢体不自由	一 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能または困難な程度のも 二 肢体不自由の状態が前号にあげる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のも
病弱	一 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のも 二 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のも

X II 注意事項

- 1 出願書類に不備のある場合は、これを受理しませんので十分注意してください。
- 2 いったん受理した出願書類は返還しません。
- 3 出願書類の記載事項に相違の事実が判明した場合は、入学許可を取り消すことがあります。
- 4 入学に関する問い合わせは、横浜国立大学社会科学系経済学務係に問い合わせてください。

XIII 個人情報の取り扱いについて

志願者の入学試験成績および出願書類等に記載された個人情報については、本学入学者選抜に係る用途の他、本学における諸調査及び研究の資料としても利用することがあります。調査・研究結果を発表する場合は個人が特定できないように処理します。それ以外の目的に個人情報が利用又は提供されることはありません。

平成 25 年 8 月

横浜国立大学経済学部

(事務担当)

横浜国立大学

社会科学系経済学務係

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-3

電話 045-339-3508